



**アドレスと耳寄り情報は、彼女たちにおまかせ!**



彼女たちがマイ・リトル・パリの主要スタッフ。  
「マイ・リトル・ラボ」と呼ぶ会議室に集まり、秘蔵アドレスを教えてくれた。  
右から、マイ・リトル・パリの設立者で女社長のファニー（本誌では40のオカリを推薦）、サイトから本ポスターまでを手がけるスーパー・イラストレーター、くのこなさん（p.75フォーストを推薦）、ファニーの妹でマイ・リトル・パリ編集長のアマンディーヌ（p.42ブルエ・コクリコを推薦）、そして営業を一手に引き受けるセリーヌ（p.43 ル・マリー・セレストを推薦）

**MY LITTLE PARIS**

マイ・リトル・パリ

パリジェンヌたちが参考にしているタウンガイドと耳寄り情報のサイトのオンパレードは、何といてもこのマイ・リトル・パリ。ファニーが仕事の傍ら、50人の女友達にニュースを送って来たのが5年前。それがクチコミで広がり、今では100万人ものパリジェンヌがニュースレターに登録するように。彼女たちの強みは、何といてもネットワークの軽さ。リサーチ・スタッフは街中を歩き、情報を入れ、アイデアを持ち寄る。それらは新しいお店の話題に限らず、忘れられていた公園だったり、ウィットが利いたメッセージの文例集だったり。それを編集スタッフがまるで友達に誘いかけるような軽快な口調でニュースレターに書き上げ、かのこなさんがチャーミングなイラストを添える。ウェブマガジンだけでなく、「マイ・リトル・ボックス」で手帳やスカーフなど、オリジナルグッズも販売するようになったマイ・リトル・パリ。シュプールは、限りなくパリらしいその環境にスタッフを訪ね、最新アドレスを教えてもらった。

[www.mylittleparis.com](http://www.mylittleparis.com)



- 1・2 ファニーのオフィス
- 3 スタッフのポートレート
- 4 オフィスのテラスの花壇
- 5 テマごとに内容を変えて毎月送られる、コスメや雑貨の詰め合わせマイ・リトル・ボックス、€15。9月末から、日本でも展開予定。(受け付けはネット上で)
- 6 日本語版の本も、「パリジェンヌたちの秘密のパリ」(原書房)